

綜合仏教研究所公開講座

思想史の中の 最澄・徳一論争

講演 師 茂樹 講師
(花園大学 教授)

このたび本研究所では師 茂樹先生をお招きし、ご講演いただきます。予約不要
および無料でどなたでも聴講できますので、ふるってご参加ください。

【日程】平成30年12月12日(水)

【時間】16:30~18:00 (5限)

【場所】綜合仏教研究所研究室1
(大正大学3号館4階)

【講師内容】

平安初期におきた最澄と徳一の論争は、日本仏教史上最大の論争であるとされる。

この論争は、一乗思想と三乗思想、一切皆成仏説と一分不成仏説といったインド以来の対立の延長線上にあり、その最高潮である、という見方がされてきた。

しかし近年、この論争がより広範な思想的対立が絡み合う中で成立したものであることが明らかになっている。本講演では、最澄・徳一論争が仏教思想史の中でどのように位置付けられるのか、近年の研究をふまえつつ考えてみたい。

【問い合わせ先】大正大学綜合仏教研究所 03-3918-7311(代表)

http://www.tais.ac.jp/library_labosobutsu/